

経営比較分析表（平成28年度決算）

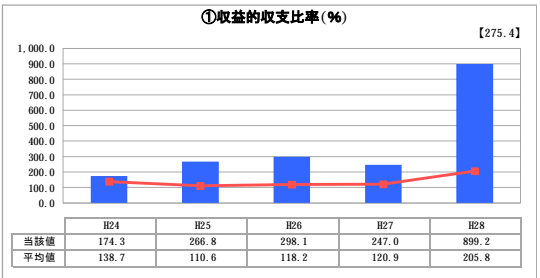
大阪府泉大津市 泉大津市立駐車場

業務名	業務名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	地下式	23	

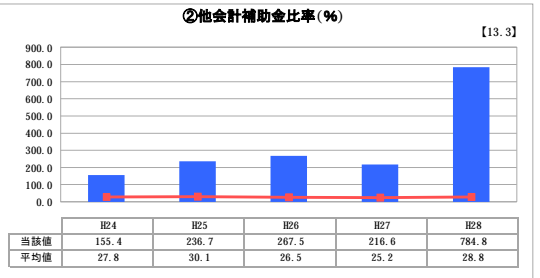
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	2,440
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
200	350	導入なし

グラフ凡例
■ 当該施設数値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 平成28年度全国平均

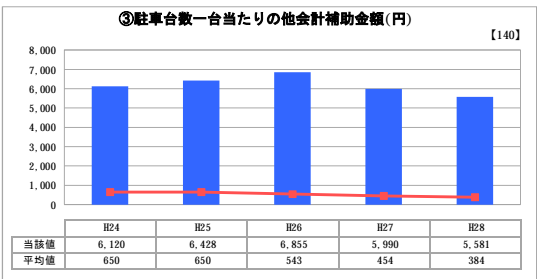
1. 収益等の状況



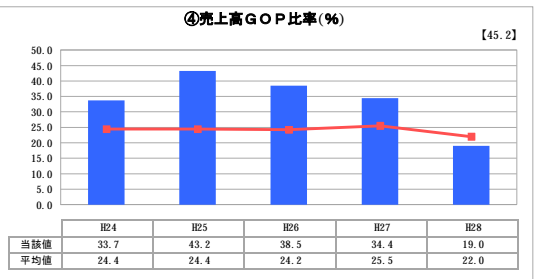
「経常損益」



「他会計補助金割合」

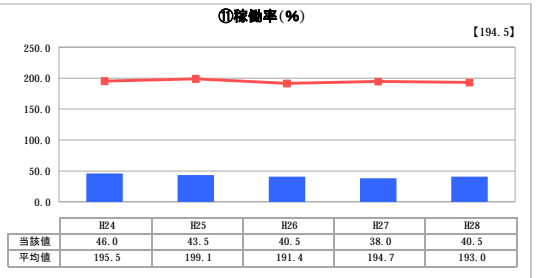


「他会計補助金額」

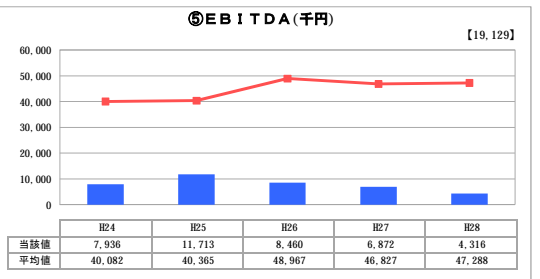


「売上高に対する営業総利益」

3. 利用の状況



「施設の効率性」



「減価償却前営業利益」

2. 資産等の状況



「施設全体の減価償却の状況」

⑦敷地の地価(千円)

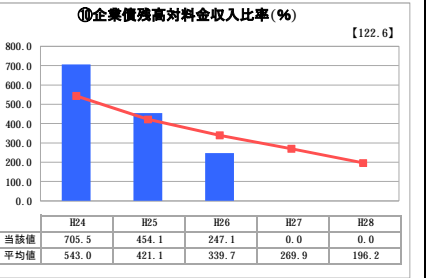
120

⑧設備投資見込額(千円)

9,000



「累積欠損」



「債務残高」

分析欄

1. 収益等の状況について
 ・他会計補助金比率、駐車台数1台当たりの他会計補助金額の割合が平均値より高いことからわかるように、市からの繰入金に依存している状況となっている。
 ・収益的収支比率や他会計補助金比率が平成28年度特にならなくなったのは、平成27年度に地方債を完済した後も、建設当時から元利償還金の累積赤字を解消するため、他会計からの繰入金により補助を行っていることが影響している。
 ・売上高GOP比率については、大規模な修繕を行っていることもあり、平均値より高い数値で推移していたが、平成28年度に高圧ケーブル修繕工事を実施したため、やや数値が減少した。

2. 資産等の状況について
 ・供用開始から20年以上経過した駐車場内の設備については、大規模な修繕や改修を行っておらず、老朽化が進んでいるため、市では平成27年度に長期修繕計画を策定し、それに基づいた修繕を平成28年度より実施している。
 ・今後の予定については、平成30年度に受変電設備の更新、消火設備の更新を予定。以降については、5年毎に給排水設備や昇降設備等の機器更新を予定しているが、駐車場の運営状況に注視しながら、機器の更新を行っている。

3. 利用の状況について
 ・稼働率については、ここ数年40%前後の数値を示しているが、一時利用者の稼働率を示したものであるが、定期券利用者が毎月100台程駐車していることを考えると、実質70%の利用があるものと推測される。
 ・また、本駐車場は南海泉大津駅前にある立地条件の良い駐車場であり、平成29年3月には南海泉大津駅高架下に商業施設が整備され、駅周辺の利用者の増加による、稼働率と収益の増加が見込まれる。

全体総括

・建設当時の元利償還金については、他会計からの繰入金により解消を進めており、平成30年9月までに累積赤字が解消する予定です。
 ・平成30年10月からは駐車場運営管理について指定管理者制度を導入し、料金体系や利用時間の見直しを図って、利用者の利便性の向上に努めていく。
 ・また、指定管理者の駐車場運営状況を注視しながら、できるだけ早い段階で中長期的な経営基本計画である「経営戦略」の策定に取り組んでいく。